

イエス・キリスト、 子どもたちを しゅくふくされる

だい44しょう



イエス・キリストは、子どもたちを自分のところにつれて来るように言われました。子どもたちは、イエスをかこんで、じめんにすわりました。(3ニーファイ17：11-12)



すくいぬしは人びとに、じめんにひざまずくようにおっしゃいました。そして、ひざまずいて、天父にいのられました。(3ニーファイ17：13, 15)



すくいぬしのおいのりは、とても書きあらわすことのできないほど、すばらしいものでした。イエスのおいのりを聞いていると、人びとの心はよろこびでいっぱいになりました。(3ニーファイ17：15-17)



イエスは、いのりおえると、おっしゃいました。「あなたがたはしんこうがあるので、さいわいです。」(3ニーファイ17：20)



イエスは、大きなあいとよろこびをかんじて、なみだをながされました。(3ニーファイ17：21)



それから、子どもたちを一人一人だいて、しゅくぶくされました。そして、子どもたちのために天父にいのり、またなみだをながされました。(3ニーファイ17：21-22)



イエスは、ニーファイ人におっしゃいました。「あなたがたのおさない子どもたちを見なさい。」(3ニーファイ17：23)



人びとが見ると、てんしたちがくだって来て、子どもたちをとりかこみました。子どもたちもてんしたちも、火につつまれていました。(3ニーファイ17：24)